

暑い日が続いていますが皆さんお元気にお過ごしですか。今回第4号では「身近にできる環境改善～その2」「タイのカレン族の暮らし方・生き方～その1」「ミズゴケ応援隊出動！」についてお伝えします。

●身近にできる環境改善～その2・・・

家の周りに広い土地があることが多い田舎では、手入れをしないと竹や笹、蔓性の植物や棘のある植物が繁茂して藪となり、人が入りにくくなっていきます。結果的に獣が寄り付きやすい環境ができてしまい、人と自然との関りが薄くなっていくと考えています。

そこで環境整備と道造りを一緒に行うワークショップを7月12日、王滝村にあるカチャーセンターロロサエで行いました。



材料は、その土地にある石を運び、木を切り倒し、丸太や杭の長さに加工して使ったので すべて0円。なるべく持ち込まず、持ち出さず、その土地の恩恵を最大限に利用することを信念としています。



地形を読み、水がどう流れるか？どこに道をつければよいか？参加者としっかり観察してから、土地が安定するように土を削り、丸太と木杭を使い土留めを作る。その土留めの上部がそのまま古くから作られてきた原始的な道となり、自然の中に分け入っていくことができる。そして自然環境の架け橋となり、人と自然がもう一度手をつなぐきっかけになっていくと考えています。（Roots Ontake 畠山智明）

●タイのカレン族の暮らし方・生き方～その1・・・

王滝村の皆様こんにちは。Roots Ontake の金田考示と申します。富山市在住ですが、ご縁をいただき木曽・御嶽山での活動にかかわらせていただいています。

今回から何回かに渡り、タイの北部に住む、カレン族について紹介させていただきます。「なぜ、タイの話？」と思われるのではないのでしょうか。

私は今年だけで3回、計60日間タイに行きカレン族の村に滞在しました。これだけ訪問したのは、彼らの暮らし方・生き方が、我々ルーツオンタケが行なっている活動につながるものであり、昔の日本人が、暮らしの中で普通に行なっていたであろうことを見ることができたからです。それは、これからの時代を生きていく上で非常に大切なことだと思います。

一言で言うと、「自然の一部として生きる」と言えると思います。



カレン族は自分たちが住む山で、伝統的に焼き畑農業を行なっています。また、自然崇拝が根本にあり、火入れを行なう前後に、火や水の神や精霊たちに向けての儀式を行ないます。

2月に行われた研修旅行では、彼らの循環型森林農業とコーヒー栽培について学びました。ここにルーツオンタケメンバーの鈴木真美さんも参加していました。

これから何回かに分け、真美さんと私とでカレン族に関する記事を書かせていただきたいと思います。
(Roots Ontake 金田考示)

●ミズゴケ応援隊出動！.....

6月30日、7月20日にミズゴケ応援隊による笹刈り作業が田の原で行なわれました。いつもご指導いただいている坂田昌子さんを紹介します。

明治大学文学部史学科卒業 高尾山を拠点に自然観察や生物多様性保全のための、伝統的手法を用いた施工、講演を全国各地で開催しています。

「環境NGO虔十の会」代表、「コモンフォレスト・ジャパン」理事など。※「虔十(けんじゅう)」とは宮沢賢治の童話「虔十公園林」より人目線でない生き物目線で観察することの大切さ、楽しさを。また小さな命に対する思いの深さ、何かをしないではいられない情熱を、一緒に作業する中で感じます。

「教えてくれるのは植物です。私たちがしてあげるのではなく、植物があるべき姿に動いていけるよう、少し手を入れるだけ。人間ができるのはその程度なのです」という坂田さんの言葉を私たちは大切にしています。



坂田昌子さん



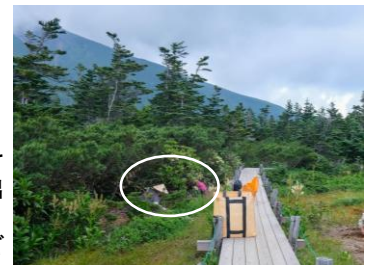
6/30の作業風景 休憩も大切です



2024年に実施した個所の手直しも行ないました。ミズゴケは無性生殖でも増えることができます。あちこちに飛んでいる、小さなミズゴケが観察できました！

まずは坂田さんから湿原の話などを聞く

すっかり景色に溶け込んでいる人が続出します(笑) 皆さんありがとうございます！



7/20の作業風景 どこにいるの～



初めてご参加いただいた方から「機械で笹を刈る環境整備と思っていたので、手作業でこんなに丁寧に笹を取っていることに驚きました」という感想をいただきました。ありがとうございました。

今後の活動予定

8月1日(土)・9月5日(土)

ご参加心よりお待ちしております。
下記QRコードをご覧ください。

√Roots Ontake 一般社団法人 ルーツオンタケ

長野県木曽郡木曽福島1240

mail: 3067kisoontake@gmail.com



編集後記：連日の暑さにミズゴケたちも疲れ気味です。各地の猛暑、九州での地震... どうぞ皆さんご自愛ください。次号に向けてエンジンかけます。